

エコアクション21

環境経営レポート

(2023年5月1日～2024年4月30日)

2024年5月31日発行

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 実施体制	P.4
5. 環境経営目標	P.5
6. 環境経営計画	P.6
7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容	P.7
8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績及び環境経営の実績・ 取組結果とその評価(実績には二酸化炭素排出量を含む)、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P.8
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P.9
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	

株式会社ユニカ

1. 組織の概要

(1) 事業者名 株式会社ユニカ
代表者氏名 代表取締役社長 矢戸雅明

(2) 所在地

事業所名 本社
所在地 〒257-0018 神奈川県秦野市今泉台2-5-13

(3) 環境管理の責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 原壮禎
担当者 原壮禎
連絡先 〒257-0018 神奈川県秦野市今泉台2-5-13
Tel 0463-84-7327
E-mail hara@unica-jp.net

(4) 事業の概要

電子部品・機器の販売、部品調達

(5) 事業規模

2023年度(2023年5月～2024年4月)
売上額 7億612万円
従業員数 6名
本社床面積 301.86㎡

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織
本社

(2) 認証・登録対象活動
電子部品・機器の販売、部品調達

3. 環境経営方針

[環境経営方針]

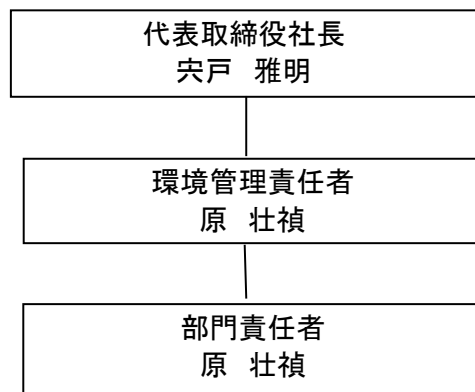
当社は、電子部品販売及び付随の事業活動において、地球環境に配慮して、環境保全が事業活動に置ける重要課題の一つであると認識し、以下の通り環境方針を定めて活動します。

1. 環境関連法規則や当社が約束したその他の要求事項を遵守します。
2. 次の事項について具体的な環境目標・環境活動計画を定め、継続的改善を実施します。
 - ①省エネルギーに向けた活動を行い、二酸化炭素排出量の低減に取り組めます。
 - ②エコドライブ・アイドリングストップにつとめ、燃料削減を推進します。
 - ③分別の徹底、リサイクルの推進につとめ、廃棄物の削減に取り組めます。
 - ④節水につとめ、水使用量の低減に取り組めます。
 - ⑤環境に配慮し、電子部品の提供に努めます。
3. 本方針を全社員に周知し、環境保全の意識を向上させます。

2023年2月1日 制定
株式会社ユニカ
代表取締役 矢戸雅明

4.実施体制（役割・責任・権限を含む）

実施体制及び役割及び責任・権限



	役割・責任・権限
代表者	1. 環境管理責任者の任命、実施体制の構築 2. 環境方針の制定 3. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源を用意する 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関であるEA21EMSの事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練を適切に計画・実施する 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理 7. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 8. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 9. 環境活動の実績集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 10. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成
部門責任者	1. 環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の実施、自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 2. 環境活動計画の実施及び達成状況の報告 3. 特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 5. 問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境方針を理解し、環境活動計画に従って活動する。

5. 環境経営目標

環 境 経 営 目 標

環境経営目標	基準年度	中期目標		実績
	2021年度	2023年度 (2023年5月 ～2024年4月)	2024年度 (2024年5月 ～2025年4月)	2023年度 (2023年5月 ～2024年4月)
	運用期間			
	2021年5月 ～2022年4月			
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 総量 15555kg-CO ₂	基準年1%削減 15400 kg-CO ₂	基準年2%削減 15244 kg-CO ₂	14193 kg-CO ₂
1.1、電力使用量の削減	15064 kWh	基準年1%削減 14913 kWh	基準年2%削減 14763kWh	13925 kWh
2、自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	1011 L (2346kg-CO ₂)	基準年1%削減 1000 L (2320kg-CO ₂)	基準年2%削減 990 L (2297kg-CO ₂)	1136 L (2635 kg-CO ₂)
2.1、自動車燃料(軽油)使用量の削減	2533 L (6535kg-CO ₂)	基準年1%削減 2507 L (6468kg-CO ₂)	基準年2%削減 2482 L (6404kg-CO ₂)	2089 L (5390 kg-CO ₂)
3. 廃棄物排出量の削減検討	(一廃排出量) 1052kg	基準年1%削減 1041kg	23年度1%削減 1063 kg	1074 kg
4. 水使用量の削減	(水使用量) 45 m ³	維持管理 45 m ³	維持管理 45 m ³	43 m ³
5. 環境配慮及びサービスの改善	通い箱利用 64回	22年度3%増 66回	23年度3%増 34回	33回
5.1. 製品の品質確保(実装基板)	不良率 0.3%	維持管理 0.3%	維持管理 0.3%	0.3%

注:

- 1) 二酸化炭素の排出係数 0.443kg-CO₂/kWh
- 2) 化学物質については不使用につき目標設定なし

6. 環境経営計画 7. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

環境経営計画	環境経営計画に基づき実施した取組内容
1. 二酸化炭素排出量の削減	
1.1. 電力使用量の削減 ・電気機器の不使用时電源OFF ・エレベーターの使用数低減 ・エアコン温度設定最適化	・不使用时の電源OFF実行 ・荷物が無い時の階段の使用実行 ・夏季:27℃、冬季:20℃を目途とした
2. 自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 2.2. 自動車燃料(軽油)使用量の削減 ・エコドライブの実施 ・車輦別タイヤ空気圧管理	・エコドライブの実施 ・空気圧確認の実施
3. 廃棄物排出量の削減検討 ・廃棄物分別の徹底 ・紙類、ダンボールのリサイクル	・可燃物と不燃物の分別の徹底 ・紙類、ダンボールのリサイクルの徹底
4. 水使用量の削減 ・維持管理	・引き続き節水に努めた
5. 環境配慮及びサービスの改善 ・部品出荷・納品時の通い箱の運用促進	・取引先との連携の推進
5.1. 製品の品質確保 ・不良品率現状把握	・不良発生時の委託業者への対策徹底

8. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価(実績には二酸化炭素排出量を含む)、並びに
次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営計画	取組結果とその評価(23年5月～24年4月)			
	環境経営目標	環境経営計画の 実績	取組 結果	取組結果の評価
1. 二酸化炭素排出量 の削減	1%削減(→99%) 15555→15400 (kg-co2)	14193 (kg-co2)	○	・順調に取組が進み、目標達成
1.1. 電力使用量の削減	1%削減(→99%) 15064→14913 (kWh)	13925 (kWh)	○	・順調に取組が進み、目標達成
2. 自動車燃料(ガソリン) 使用量の削減	1%削減(→99%) 1011→1000 (L)	1136 (L)	×	・ガソリン車での使用増の為、10%増
2.1 自動車燃料(軽油) 使用量の削減	1%削減(→99%) 2533→2507 (L)	2089 (L)	○	・軽油車使用減の為、目標達成
3. 廃棄物排出量 の削減検討	1%削減(→99%) 1052→1041	1074 (kg)	×	・年間通しての廃棄量の 詳細が把握ができた
4. 水使用量の削減	維持管理 45 (m3)	43 (m3)	○	・節水意識の維持ができた
5. 環境配慮 及びサービスの改善	3%増(→103%) 64→66	通い箱での 運用実績把握 33 (回)	×	・年間通しての通い箱の 運用回数が計測できた
5.1. 製品の品質確保	不良品率	0.3 (%)	○	・不良品率の維持ができた

○:目標達成、×:目標未達

次年度の環境経営計画	次年度の環境経営目標	次年度の取組内容
1. CO2排出量の削減	基準年2%削減 15,244 kg-CO2	
1.1電力使用量の削減	基準年2%削減 14763 kWh	・不使用時の電源OFF徹底 ・荷物が無い時の階段の使用の徹底 ・夏季27℃冬季20℃のエアコン温度設定
2.自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	基準年2%削減 990 L	・エコドライブの実施 ・空気圧確認の実施
2.1自動車燃料(軽油)使用量の削減	基準年2%削減 2482 L	・エコドライブの実施 ・空気圧確認の実施
3. 廃棄物排出量の削減	前年比1%削減 1063 kg	・可燃物と不燃物の分別の徹底 ・紙類、ダンボールのリサイクルの徹底
4. 水使用量の削減	維持管理 45 m3	・節水に努める
5. 環境配慮及びサービスの改善	通い箱の運用促進 前年比3%増 34 回	・取引先との連携の推進
5.1. 製品の品質確保	維持管理 0.3 %	・不良発生時の委託業者への対策徹底

9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規などは次のとおりである。

適用環境関連法規等	適用される事項(施設、物質、事業活動等)
自動車NOx・PM法	自動車
資源有効利用促進法	パソコン
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属クズ、廃プラ等)
家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン
自動車リサイクル法	自動車
フロン排出抑制法	業務用エアコン

環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

エコアクション21を構築後、1年の運用期間を経て目標の達成・未達の項目はあるが、環境問題への意識をもって活動できている。

今後も環境経営方針は変更せず、引き続き環境を意識した取り組みを継続いたします

(2) 見直し・指示

(2)－1. 環境経営方針

引き続き環境経営活動の方針は、現在のままの形で変更しないこととする。

(2)－2. 環境経営目標、環境経営計画

①二酸化炭素の排出では、全体としては目標を達成することができた。

個別項目としてはガソリンが増え、軽油が減っている状況の為、詳細把握の意味も含め車両運行状況を24年度より管理把握に努める。

②廃棄物排出量を年間を通しての把握ができた。今後は排出量削減に努める。

③水使用料が維持できたので今後も節水に努める。

④環境に配慮し、製品の提供に努めるため、

部品出荷時の通い箱の運用促進や製品不良をださないよう、改善に努める。

(2)－3. 実施体制

年間を通しての、把握ができていなかった廃棄物排出量と通い箱での運用数が予想の誤差があり未達となったが、概ね良い結果となったので、引き続き現行の体制を変更することなく維持する。